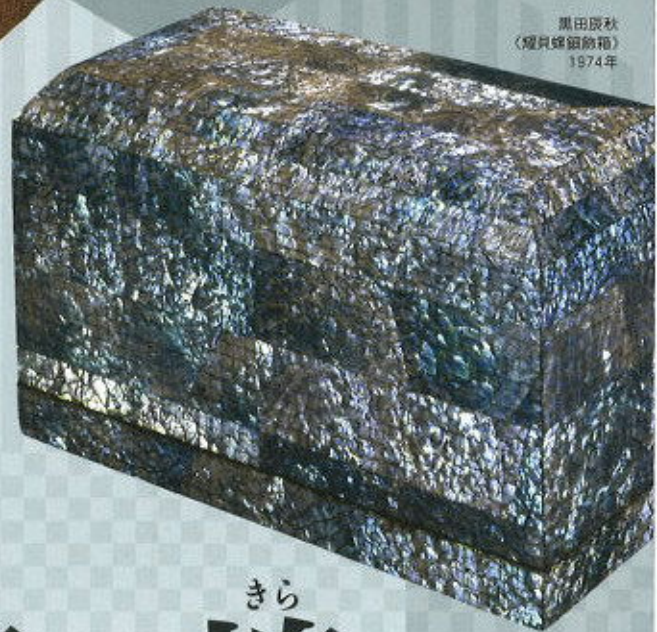


岩田藤七
《ガラス燗文平茶碗》
1966年



黒田辰秋
《煙貝螺鈿飾箱》
1974年

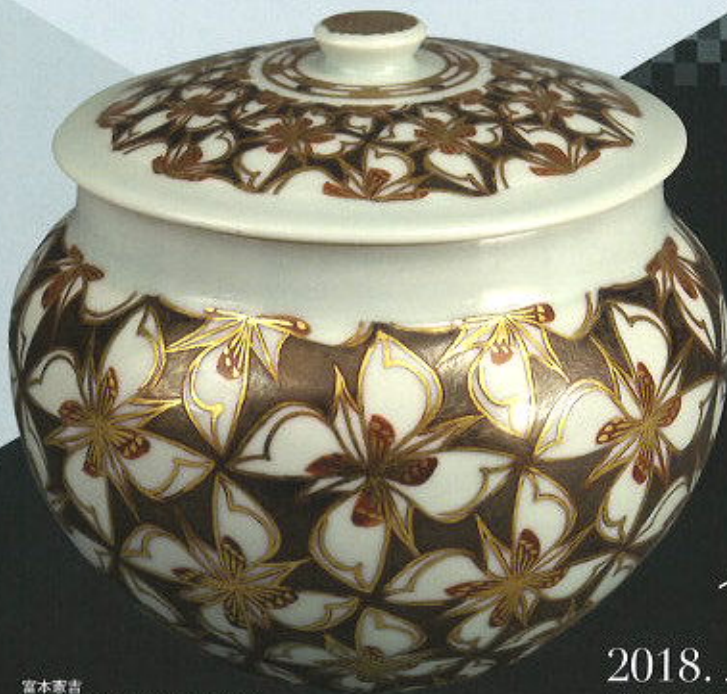


田辺一竹斎(二代竹雲斎)
《花籠 静日》1979年



瀬戸市美術館特別展
東京国立近代美術館工芸館名品展

多彩なる 近現代工芸の煌めき



富本憲吉
《色絵金銀彩四弁花文飾壺》1960年

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※初日は午前11時開館

休館日：12月11日(火)、12月28日(金)～2019年1月4日(金)
1月8日(火)、2月12日(火)

入館料：一般500円(400円) 高大生200円(160円)
※()内は20名以上の団体、中学生以下、妊婦、65歳以上
障害者手帳をお持ちの方は無料

会場：瀬戸市美術館

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3(瀬戸市文化センター内)

TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415

E-mail art@city.seto.lg.jp

URL <http://www.seto-cul.jp/seto-museum/>

主催：東京国立近代美術館、瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団

2018. 12.1(土) - 2019. 2.17(日)

※作品保護のため、会期中一部展示替えを行います。前期：12月1日(土)～1月7日(日)、後期：1月9日(水)～2月17日(日)

本展は、東京国立近代美術館工芸館が所蔵する工芸作品を効果的に活用し、広く地域の鑑賞機会の充実及び美術の普及を図るとともに、地域の文化振興に貢献するため、東京国立近代美術館工芸館巡回展事業として開催するものです。

日本の工芸品は、特に明治時代、欧米における熱狂的な日本ブームによって、海外へ大量に輸出されていきました。明治政府は、殖産興業及び外貨獲得という目的から、この動向を支持し、工芸を重要な輸出品目と位置付けて、工芸品制作を奨励しました。こうして、技巧を凝らした、類い稀な作品群が次々と生み出され、世界に冠たる日本近代工芸の発展の基礎が形成されたのです。その後、その技を受け継ぎながらも、工芸品制作の中に自らの個性を見出そうとする作家たちの登場や、美術工芸団体の設立などにより、日本の工芸は、伝統と創造性が融合され、まさに現在、それらが昇華した姿として確立されています。

本展では、こうした日本の近現代工芸の技と伝統と歴史、そしてそれらから生み出された「美」をご覧いただくため、東京国立近代美術館工芸館の膨大な所蔵品の中から、陶磁・ガラス・漆工・木工・竹工・染織・人形・金工の各分野を代表する珠玉の名品を展示します。これらの作品群を通して、世界でも高い評価を受けている日本の近現代工芸の神髄に触れていただければと思います。



鈴木長吉(十二の鷹)(部分)1893年★



藤垣裕次郎(結城柿地型絵染着物 竹林)1958年☆



坂谷波山(雲青磁牡丹彫文花瓶)1925年



鹿児島再興(紙製人形 地久)1961年



水見覚堂(金銀線象嵌榎平卓)1960年



藤田善平(鈴笠 高瀬)1973年



藤井達吉(銅切透七宝巻雲紋手箱)1920年

※会期中、一部展示替えを行います。★12月22日(土)までの展示、☆前期：12月1日(土)～1月7日(月)、無印：全期間展示

12月8日(土)17:30開場、18:00開演

ロビーコンサート
「多彩なる現代アコーディオンの煌めき」

演奏者：エツィオ・ギバウド(アコーディオン)
場 所：美術館ロビー
定 員：100名(先着順)
※事前申込不要、要入館料
※美術館は17:00に一旦、閉館し、ロビーコンサートにあわせて再度開館します。
※17:00より整理券を美術館入口にて配布します。整理券がなくなり次第受付を終了します。

12月8日(土)13:30～

1月19日(土)13:30～

ギャラリートーク

内 容：当館学芸員による作品解説を行います。
場 所：美術館展示室
※事前申込不要、要入館料

2月2日(土)11:00～

タッチ&トーク

内 容：展覧会場場で作品のみどころを紹介し、タッチコーナーで実際に工芸作品に触れる事で、素材や技法の魅力を感じます。

講 師：東京国立近代美術館工芸館
今井陽子主任研究員、西岡桐研究補佐員

場 所：瀬戸市文化センター
文化交流館22会議室

応募方法：12月1日(土)午前11時より受付を開始します。参加ご希望の方は、電話にてお申し込みください。(TEL.0561-84-1093)

定 員：20名(小学生以上)
※要申込、要入館料

12月22日(土)13:30～

講演会「日本の近現代工芸の歩みから現在(いま)を考える」

講 師：東京国立近代美術館工芸館
唐澤昌宏工芸課長
場 所：瀬戸市文化センター
文化交流館22会議室
定 員：80名
※事前申込不要、無料

次回展覧会情報

平成30年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

「瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム2018-2019 招聘作家作品展」
2019年2月23日(土)～3月24日(日)

「瀬戸市美術館収蔵作品展」

2019年2月23日(土)～3月24日(日)



近隣施設情報

愛知県陶磁美術館 TEL 0561-84-7474

○特別企画展「瀬戸—かく焼き窯—江戸時代の本業と新製」
2018年10月27日(土)～12月16日(日)
○企画展「愛知県陶磁美術館の愛蔵外国陶磁コレクション選」
2019年1月12日(土)～3月24日(日)

瀬戸蔵ミュージアム TEL 0561-97-1190

○企画展「建物のキョウ—瓦・タイル・テラコッタ—」
2018年11月10日(土)～2019年2月3日(日)
○企画展「新収蔵品展」
2019年2月9日(土)～5月12日(日)

新世紀工芸館 TEL 0561-97-1001

○「第7回そば猪口アート公募展」
2018年11月17日(土)～2019年1月20日(日)
○「瀬戸市新世紀工芸館 第15期研修生修了作品展・第16期研修生作品展」
2019年1月26日(土)～3月17日(日)

瀬戸染付工芸館 TEL 0561-89-6001

○企画展「明治時代の瀬戸染付—小品を中心に—」
2018年9月26日(水)～12月27日(木)
○企画展「絵付の表現—瀬戸染付の技—」
2019年1月5日(土)～3月25日(月)

